

評価者	教育部	佐藤 尚之
-----	-----	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針

総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実
目標とすべきま ちの姿	生涯学習センター、図書館など本市の生涯学習施設が充実し適正に整備され、利用しやすい魅力ある施設と なっています。また、市民が自らの学習内容にあわせて、本市の生涯学習施設、関係機関、学校、民間施設な どを効果的に活用することができるなど、学習の場が十分に確保されています。 毎年、多くの市民が生涯学習センターを利用し、自らの興味関心にそって自発的に学習する習慣が広まってい ます。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成26年度	16.8%	平成27年度	17.5%	(回答者全体に占める割合)
-----------------------	--------	-------	--------	-------	---------------

(2) 妥当性

仕事 の 効果	お金の使い方			お金の使い方			<p>&lt;妥当性の分析&gt;</p> <p>仕事の効果、お金の使い方ともに、「ちょうどよい」が48%と高いポイントであり、当施策は妥当であると分析できる。また、次に多いのはお金の使い方が「足りない」、効果「不十分」の10%であり、もっと力を入れるべきとの市民意識が高いと考えられる。</p>
	必要以上の効果	3.3%	0.9%	0.3%	必要以上の効果	2.1%	
ちょうどよい	4.3%	46.7%	1.0%	ちょうどよい	5.3%	47.5%	1.1%
効果不十分	5.9%	4.5%	10.2%	効果不十分	5.4%	3.4%	10.3%

  

平成26年度	平成27年度
--------	--------

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答	全体
平成26年度	21.1%	48.6%	7.8%	22.5%	100.0%
平成27年度	20.7%	50.8%	5.2%	23.3%	100.0%

2 内部評価

(1) 平成27年度の目標

生涯学習施設の適正な管理を行い、利用しやすく快適な学習環境を提供する。
-------------------------------------

(2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		今後の方向性	
		平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	事業内容	予算規模
教育-12	吉屋信子記念館管理運営事業	2,423	2,281	10,791	12,175	1.1	1.3	b	A
教育-13	生涯学習センター管理運営事業	151,434	159,901	189,472	198,716	5.0	5.1	b	A
教育-40	市史編纂事業	2,201	2,204	3,719	3,737	0.2	0.2	b	B
教育-41	図書館管理運営事業	123,235	120,059	296,294	294,857	22.8	22.8	b	A

**(3) 主な実施内容**

<p><b>【主な実施内容】</b>                  吉屋信子記念館の維持管理を行うとともに、一般公開業務や施設利用業務などを実施した。今年度初めて地元限定の公開を行った。(教育-12)                  生涯学習センター管理業務補助嘱託員の配置や事務用消耗品の購入など、生涯学習センターの運営に必要な事務を行うとともに、生涯学習センターの総合管理、各所修繕や生涯学習ネットワークシステムの保守管理など、施設の維持管理を行った。(教育-13)                  市史の編さんに向け、歴史的資料の整理・保存及び散逸防止を行うとともに、歴史的公文書等の収集・選別作業の試行を行った。(教育-40)                  効果的な資料収集を図るとともに、市民等のニーズに則した貸出業務、インターネット予約受付などを実施するとともに、図書館業務に必要な嘱託員の配置と諮問機関としての図書館協議会の運営を図った。(教育-41)</p>
<p><b>【実施できなかった事業とその理由等】</b></p>

**(4) 平成27年度の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
<p><b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>                  吉屋信子記念館の一般公開に際してツイッターやHPにより周知を行った。また地元住民を対象とした限定公開を実施し近隣住民の理解を深めるように努めた。                  鎌倉生涯学習センターの維持管理に努め、トイレの洋式化やオストメイト対応のトイレの整備など利用しやすい施設づくりを進めた。                  図書館資料の充実を図り、情報の収集、発信に努めた。</p>			

**3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性**

<p>老朽化している鎌倉生涯学習センターの大規模修繕等を実施し適切な維持管理に努める。                  鎌倉らしい蔵書の構築を図り、快適な学習環境を確保するために、施設の維持修繕に努める。</p>
---

**4 平成28年度の目標**

<p>生涯学習施設の適切な管理を行い、利用しやすく快適な学習環境を提供する。</p>
--

**5 主な事業における指標(目標ごとに1つ)**

整理番号	教育-12	事業名	吉屋信子記念館管理運営事業					単位	人	指標の傾向	備考
指標の内容	利用者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	一般公開及び施設利用者の合計			
来場者の増加を図るため	目標値	6,850	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900				
	実績値	5,368	4,767								
	達成率	78.4%	69.1%								
整理番号	教育-13	事業名	生涯学習センター管理運営事業					単位	千人	指標の傾向	備考
指標の内容	学習センターの利用者数					単位	千人 <td>指標の傾向</td> <td>⇒</td> <td>備考</td>	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	生涯学習の振興状況を図るため			
生涯学習の振興状況を図るため	目標値	580	585	590	595	600	600				
	実績値	627	560								
	達成率	108.1%	95.7%								
整理番号	教育-41	事業名	図書館管理運営事業					単位	冊	指標の傾向	備考
指標の内容	貸出冊数					単位	冊 <td>指標の傾向</td> <td>↗</td> <td>備考</td>	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	蔵書の充実を図り、多くの市民に図書館を利用してもらうため。			
蔵書の充実を図り、多くの市民に図書館を利用してもらうため。	目標値	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000				
	実績値	1,382,363	1,411,599								
	達成率	92.2%	94.1%								

参考 前年度外部評価結果への対応

鎌倉市民評価委員会からの指摘	指摘への対応、コメント等
<p>・各事業において、指標が「設定されていない」「設定されているが、効果を計るには不相当」等が見受けられるため、各事業の「意図」や「効果」が明確に計れる指標を設定して頂きたい。</p>	<p>各事業の指標の設定に努めた。</p>
<p>・生涯学習団体が多く、場所の確保に苦勞している。学習の場のニーズは高まっている。民間施設を含め検討されたい。</p>	<p>公共施設再編計画の進捗状況と整合性を図りながら検討していく。</p>
<p>・生涯学習センターの管理運営において、センターの管理しか実施事業が見られないが、本事業はセンターの「管理」のみならず、「運営」も担っているため、運営事業についても実施して頂きたい。また、事業の「意図」や「効果」を達成する取組が見受けられない。</p>	<p>運営面では、適正で効率的に館の貸し出し業務を行っていくことだと考えている。利用率の状況や利用者の意見を聴きながら効率的な利用を図っていききたい。トイレの洋式化や丁寧な施設管理等により利用者に優しい施設づくりを目指していく。</p>
<p>・図書館振興事業が市民等との協働ですすめられているが、市民にとって身近な場所となるよう、更なる工夫をお願いする。</p>	<p>平成20年度から市民団体と市民協働事業を開始し、市民参画による図書館振興事業を行ってきた。今後も引き続き市民との協働により、秋の図書館の行事である「ファンタスティック☆ライブラリー」を実施していく。</p>
<p>・図書館のデジタル化にあたっては、業務の負担増にはなるが、国立国会図書館のデジタル資料利用施設の登録をしてはどうか。また、著作権処理には高度な専門性が必要であるため、周辺の自治体と協力し、著作権を一括処理する共同体を設けてはどうか。</p>	<p>鎌倉市図書館は、国立国会図書館のデジタル資料利用施設の登録をすでにしており、平成26年7月から、国立国会図書館のデジタル資料の閲覧・複写が可能になった。著作権の一括管理に関しては、研究を行っていききたい。</p>



## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 《評価できるところ》

- ・生涯学習センターの大規模修繕等を実施したことで、市民が利用しやすくなった。
- ・生涯学習センターの維持管理に努め、トイレの洋式化やオストメイト対応のトイレの整備など、利用しやすい施設づくりを進めた。
- ・図書館資料の充実を図り、情報の収集、発信に努めた。
- ・写真展の開催など、市民との協業による事業の推進を行っている。
- ・注目を浴びた平成27年8月の図書館司書のツイッターは、公共の学習施設の職員の発信として、非常に高い評価ができる。このように、お金をかけずとも効果の出る運用を模索しており、ツイッター、HP等の情報発信は時代に合致している。

		評価の内訳								委員会の評価
取組	↗	6	↘	0	→	2	⇒	↗		
効果	○	3	△	1	-	4		-		

### 《課題》

- ・場所の確保について、公共施設再編計画の進捗状況と整合性を図る施設整備とあるが、どのようなプライオリティをつけて進めているのかを明らかにしていない。場の確保については現状維持とするのが限界という印象である。
- ・国立国会図書館のデジタル利用施設の登録など、せっかく良い取組を行っているにもかかわらず、市民に伝わっていない。
- ・図書館管理については、現在いろんな自治体では様々な工夫や取組が行われているが、鎌倉市は少し遅れている印象がある。いろんな事例を参考にして充実を図ることが求められる。
- ・平成26年の目標にあった「学習意欲の醸成を促す」が翌年から削除されている理由が分からない。

### 《提言》

- ・学習環境の提供だけでなく、自発的に学習する習慣が育成されるような魅力あるプログラムも提供すべきである。
- ・今までの取組や、新たに始めた取組(サービス)等について、積極的かつ具体的にアピールすべきである。
- ・今後「十分に場所が確保されている」状態に上げていくための施策・工夫が重要である。
- ・生涯学習センターの幅広い年代の活用に工夫が必要であり、利用者へのアンケート等によるニーズ把握が重要である。
- ・生涯学習センターに関する指標を「利用者数」「稼働率」の両者で見るとすべきである。
- ・図書館資料の充実は図られてきたが、気軽に来館できる様、イベントなどを工夫すべきである。
- ・図書館事業の充実度を他自治体との比較で明らかにすべきである。